



やぐら姫

クリアカード編

淫獣日和

クリアカード編

世に災いをもたらすクロウカードを集め街に平和が訪れた

さくらちゃんは友枝中学1年生に進学し平穏な日常が流れると思われた……

身体も成長し魔力も十分に満ちるさくらちゃん

実は熟したと判断した邪なる存在は行動に移る

魔法少女という最高の身体を貪る快感を求め

淫獣はさくらちゃんの元へ向かった……。

①カードが透明になり戦力を失ったさくらは容易く淫獣に捕らえられていた



③さくらの頭部を掴み淫獣は口から触手を吐き出しそれをさくらの口へ近づける

ズリユリユ...



②突如現れた淫獣を新たなカードの一種と勘違いし戦いを挑んださくらしかしそれは淫獣のさくらをおびき出す策略であった
畏に掛かったさくらは淫獣の太い腕に拘束された



④さくらの薄い唇を容易く押し開け体液で滑る触手が唇や舌の上を這いずってゆく



①さくらは口腔内の触手が脈打ちながら何かを吸う感覚を覚える……

ちゅぷ
ちゅるじゅるっ……
……じゅぷっ……

かはっ……
はあ……あ

ハアハア

③触手が口から引き抜かれむせ返るさくらちゃん
口いっぱい吸われた魔力の代わりに淫獣の粘液が溢れ返る

②それはさくらの唾液や体液であった

さくらの唾液や体液に含まれる魔力を吸い上げているのであった

少女の小柄な身体をきつく抱きしめ体内の魔力を全て絞り出そうとする淫獣

足をバタつかせ足掻くも何の意味もなさない……

ジュンジュンジュン

①魔力を吸い付くされ非力な少女に成り下がったさくら
淫獣は叫び助けを求める少女の下着をずらし性器を膣口に添える

一層激しくもがく少女……それは意中の相手がいる処女が
よく見せる反応であった

②中学になり薄く陰毛の生えた秘部に
数々の女性を犯してきた淫獣の性器が
挿入されてゆく

③ビクンっと大きく身を反らせたのち
身体を痙攣させる少女

ズッパッ…
ズッポ

④淫獣はまだ少し未成熟の膣にも容赦なく
激しくピストンする…
意中の相手、小狼くんならもっと優しく
してくれるのだろうか淫獣に捕まった時点で
それは叶わぬ願望である



①犯され小狼君に捧げたかった
処女を淫獣に奪われた絶望
そんな悲運に叫んでいた……
……ハズだった

③さくららは自身の異変に困惑しながら喘ぐ
こんな事されて悦ぶ筈なのに……
化け物が自分の身体を抱き込み互いの性器の凹凸を
刺激し合っている……
この事実に対しての不快感がだんだん薄くなってゆく

④人は呼吸や飲食以外にも皮膚からも
成分を吸収する性質がある
そして膣内の経皮吸収は皮膚吸収の数十倍

②身体は急激に火照り

破瓜の痛みなど無くむしろ突かれる度に
身体の奥から刺激を求め感情が湧いてくる
淫獣のピストンに合わせて嬌声を上げていた

⑤魔法少女の魔力は状態異常に対して耐性がある

特に性的な異常には高い耐性が備わっている
しかし魔力を全て吸い取られた今のさくららは
淫獣の精液の媚薬成分を無防備に受けてしまったのであった

パンッ

ぱちゅん

パンッ

①何か規則的に
湿った音がする……

③自分の身体が激しく汗ばむほど動いていた……
体液で湿った化け物の性器を挿れられてから
身体が熱くなり意識に冴がかかったようになってしまった

自分の秘部に刺さる肉棒に上下運動をして
性器をこすり合わせ刺激すること
……快楽を得られる事を知ったさくら

④もっと欲しい……
中学生に成長した身体は性的な欲求に正直であった
淫獣相手に自ら腰を振りはじめた

②意識を失っていたのだろうか？
無意識に何かをしていたような気がする
そんな事を思いながらさくらは我に戻る

ハッ
ハアッ

ぱちゅん
ぱちゅん

パン
パンッ

ズップ

ズップ

①淫獣の首に腕を回すさくら
その様は恋人同士の性行為の様…

③魔力を奪われ
耐性が無効化された状態で淫獣の媚毒を
体内に吸収してしまったっては魔法少女と
言えど只の性欲の奴隷である

②汗ばむ腋を晒し

そこに淫獣の体液が垂れ
さくらの汗と

淫獣の体液が混ざり合う

独特の熱気を放つ

むわあ

じゅぷぷ

じゅぽっ

じゅぽ

④普段の愛らしい彼女はそこには無く

身に纏う可憐な魔法少女の衣装とは裏腹に
淫乱に醜い獣に自ら腰を振る…

まるでコスプレ風俗嬢である

① 快樂に溺れる無抵抗の魔法少女を
頭からかぶり付く淫獣

③ 軽い小柄な身体を持ち上げ体内に呑み込んでゆく
中学に進学し意中の相手、小狼君と再会し
恋や魔法少女として 新たな生活が
スタートしたばかりだったさくら

④ そんな希望も

淫獣に犯され処女を奪われ

そんな淫獣に自ら腰を振り出し

白い太ももの上を破瓜の血と精液の混ざったモノで
濡らすさくらには過去のものである

② 意識が朦朧としてるのだから……

暴れる事もなく容易く啜え込まれ丸呑みにされてゆく

さくら

① さくららは淫獣に呑み込まれ
体内に消えていった
抵抗も無くあつけない最後である

② 残されたのは
さくらの履いていた
靴のみである

③ 淫獣は腋フエチだと察したさくららは
腋を晒し淫獣を悦ばせようとする

⑤ 淫獣の体内では魔力を吸われ続けるので
媚毒に耐性ができる事は無いし
解毒も出来ない
そして媚毒の効果で淫獣の精液を淫乱に
求めてしまうという迷宮に陥ったのである

④ 淫獣が悦ぶと、ご褒美に太い肉棒を
膣にねじ込んで激しく犯してくれる……

⑥ 発情した少女の膣内は苗床に適し
卵を植え付けられるさくら
しかし不快感は感じない……

股を開かされるのも抵抗はない
淫獣の肉棒を迎え入れるには
もっと開きたとすら思うさくら

正確には感じられない。















